

ひゅ〜〜〜どろどろ

はにゅうしりつとしょかん

「おばけなんてないさ」

中川貴雄 // 絵 フレーベル館 E/オ/ハジメ



おばけなんて、ないさ。おばけなんて、うそさ。ねぼけたひとが、みまちがえたのさ。だけどちょっと、ぼくだって、こわいな…。

「おばけがぞろぞろ」

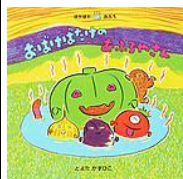
ささきまき // 作 福音館書店 E/オ/ハジメ



おばけがぞろぞろ出てくる楽しい絵本。どんなところから、どんなおばけが飛び出してくるのか。本を開くのもぞくぞくしてくる。

「おばけばたけのおふろやさん」

とよたかずひこ // 作・絵 ひさかたチャイルド E/ボ



おばけばたけに現れた、どろ泥だらけのおばけたちが、おふろにどっぷ～ん。すると、おばけたちの姿がきれいになって…!?

「ねずみくんとおばけ」

なかえよしを // 作 ポプラ社 E/ネ



「おばけだぞ～」シーツをかぶって、おばけになったねずみくん。みんなをおどかさうとすると、動物たちもおばけになってやってきて…?

「おばけのたまごにいちゃん」

あきやまただし // 作・絵 鈴木出版 E/オ



おばけのたまごにいちゃんは、おばけなのに怖くない。誰も驚いてくれないのが悲しくてたまごから出られません。

「きょうふのしりとり」

武田美穂 // 作 ほるぷ出版 E/キ



「こわいもの」で、しりとりしよう! ようかい、いど、どろぼう、うらめしや…。こわいのに、笑っちゃう? きょうふのしりとりのはじまり!

「おばけえんはすぐそこです」

山崎るり子 // 詩 福音館書店 E/オ



おばけたちが通う、おばけえん。やまんばは人間の食べ過ぎでおなかをこわしてお休みし、ろくろっ首は首が邪魔してなわとびがとべず…。

「ようかいむらのごくらくてんごく」

たかいよしかず // 作・絵 国土社 E/ヨ



ようかいむらのみんなは、天国にやってきました。見たことのない生き物がいっぱい天国を、ようかいの「こだまる」が案内してくれるのですが…。

「おばけでんしゃ」

内田麟太郎 // 文 童心社 E/オ



おばけ電車は、おばけを乗せて走ります。ようかい駅を出発! 火の玉飛びかう、くらやみ駅。雪女のいる、さむざむ駅…。

「おばけのおつかい」

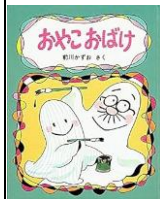
西平あかね // さく 福音館書店 E/オ



おばけのさくぴーとたろぼうは2人だけで、おばあちゃんの家とおじさんの家に出かけました。ところがおじさんの家から知らないおばけが出てきて…。

「おやこおばけ」

前川かずお // 作 童心社 E/オ



おばけって、本当にいると思いますか? おばけはちゃんといんです。おやこおばけのゆかいなお話、はじまりははじまり…。

「ようかいしりとり」

おくはらゆめ // 作 こぐま社 E/ヨ



妖怪のことならなんでも知っている「ようかいはかせ」のところに、妖怪の名前でしりとり対決しようと、妖怪たちがやってきて…。

「さんまいのおふだ」

松谷みよ子 // 著 童心社 E/サ



こぞっこは、山でばあさまに出会いました。寺に戻り、夜にばあさまのところへ行こうとします。心配したおしょうさんから3枚のお札を渡され…。

「かつぱどっくり」

萩坂昇 // 文 童心社 E/カ



むかし、ある川にかつぱがおった。いたずらでいばりんぼで、なくと、ヒョーヒョーヒョーヒョー…。はたらきものごろべえと馬のあおは、かつぱの悪だくみをやぶって…。